学校だより　月刊

今中

今金町立今金中学校　学校教育目標

自学　自立　共生

回覧

平成３１年度　重点教育目標

確かな学力と社会性の向上

～コミュニケーション能力を通じて～

電　話　８２－００７２　　ＦＡＸ　８２－０７９４

E-mail　imakanetyu@hakodate.or.jp

No.８　令和元年11月29日発行

ふるさと

校長　酒井豊志

「あなたの故郷はどこですか？」と聞かれたら、本校の生徒なら胸を張って「今金町です」と答えて良いと思います。なぜなら、私が今金町で出会った方々は、自分の町・自分の仕事に誇りを持っている方が多く、胸を張って自慢する人もいるくらいだからです。ではなぜそうなのか。これは、私なりの結論ですが、この町や土地、そして自分の人生に愛着を持って（愛着が持てる環境ができている）生活している方が多いからではないかと思います。

話はここで、大きく変わります。

この間、教え子から突然連絡がきました。その人は、自分が目指していた職業に就くことができたのですが、故郷から遥か遠く離れた場所に赴任を命じられ、強いホームシックが続き毎回電話先で泣いました。電話は、その時以来でした。

その人によると、赴任時は青息吐息（困り果てた状況の意味）ながらも、忙しい毎日を１日また１日と過ごし、気が付けばいつのまにか５年が経っていたそうです。今では、すっかりその地を好きになったと、電話口で明るい声でしゃべっていました。あれだけ自分の故郷を好きだったのに、新しい土地も好きになれる。一見矛盾していそうではありますが、故郷が大好きになれる（故郷の良さを見つけることができる）からこそ、「新しい土地の良さも分かるとができるのかなぁ」と、思いながら、久しぶりの声に嬉しく耳を傾けていました。

さて、その人は年限が来たので、転勤しなくてはならなくなりました。上司から転勤に関わることで、希望を聞かれたそうです。ただし、異動（人事）というのは、本人の希望は一応聞いてはくれますが、上司の決定に従わなくてはなりません。初めての転勤、人事に向けて初めての面接。本人はかなり緊張したそうです。そして、次のようなことをしゃべったそうです。「これまでこの地で経験したことや学んできたことを生かし、〇〇を担当できる部署を希望します。また、自分の出身地（故郷）は、△△であり、今後はその地域の温かい人柄や豊かな自然の中で、夫婦ともどもこの職業に一層貢献していきたいと考えております。」と。

故郷に愛着を持てるということは、その地域の良さを見抜く力があるということです。その力があるということは、新天地の良さを見抜ける力があることにもつながっていきます。本校の生徒は、今金中学校を卒業すると、新たな学校や地域で様々な学びや経験を通し、素敵な大人へと成長していく旅路を歩んでいきます。その旅は、始めのうちは、戸惑い、寂しさ、新しい出会い、刺激の中で、１日１日があれよあれよという間に過ぎていきます。そして、自分のペースがつかめるようになってきたころから、その土地・環境に慣れてきて、更なる学びや経験を積んでいけるようになります。故郷の今金町が好きで、この地に留まって人生を充実させ町の発展にも力を発揮してくれる道を歩もうとも、今金町を出て新天地を好きになって人生という航海を歩もうとも、今金町という故郷を大切にできる心があれば、立派な人生を歩めると思います。

今金町を誇りに思っている町民の皆様と教え子からの電話で、今金町で育った生徒の心の中には、いつでも今金町を誇りに思える生徒であってほしいと思いました。そして、「あなたの故郷はどこですか？」と聞かれたら、胸を張って「今金町です。」と答えられるような教育を目指していかなくてはならないと、改めて感じさせていただきました。

芸術・文化・スポーツの秋

束の間の秋は通り過ぎてしまったように感じますが、11月は芸術・文化・スポーツの様々な分野での取組が行われました。コンクールや作品展では本校生徒の作品が数多く表彰される機会もありましたので紹介いたします。

＜町総合文化祭　入選＞

○絵画の部

町長賞	山内　芽依	1年
議会議長賞	小林　実鈴	2年
教育長賞	坂上　陽和	1年
校長会長賞	吉田　尚哉	2年
佳作	川崎　蓮華	1年
	水野　志音	1年
	内ケ島優花	2年
	嶋田　梨菜	2年
	須藤りりこ	2年

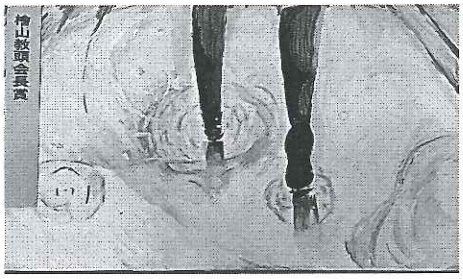
○書道の部

町長賞	佐々木妃夏	3年
議会議長賞	稲木　愛伽	2年
教育長賞	佐々木花夏	3年
校長会長賞	蛯名　かの	2年
佳作	小田島暖和	1年
	坂上　陽和	1年
	山内　芽依	1年
	伊藤　聖琉	2年
	近田　優世	2年

＜税についての作文コンクール＞

11月18日には3年田中琴奈さんが税についての作文コンクールで全国納税貯蓄組合会長賞を受賞し、本校にて表彰式が行われました。

＜檜山管内児童・生徒美術展＞



檜山教頭会長賞
蛯名　かの　2年

奨励賞
内ケ島優花　2年

＜町芸能まつり＞

今中文化祭合唱コンクールにて最優秀賞を受賞した3年生は、再び素晴らしい歌声を披露しました。

吹奏楽部は3年生引退後の初ステージ

＜北海道日本ハムファイターズ・スポーツキャラバン＞

① 生き方学習講演会　講師：立石尚行　氏

元プロ野球選手として培った経験をもとに、人間関係の作り方、特に、コミュニケーションをとることの大切さや夢に向かうことの大切さ、そして挫折を乗り越えていくための考え方などを学びました。

② トレーニング教室

プロの選手が実際に行っている基礎練習の中から厳選したメニューにみっちりと取り組みました。日常的にトレーニングは行っている運動部の生徒でも、プロ仕様のトレーニングには興味津々でした。たくさんのアドバイスをいただき、あっという間の１時間でした。

食育推進の取組

本校では、①食事の重要性（喜び、楽しさ）②心身の健康（望ましい栄養のとり方）③食品選択能力（品質、安全性）④感謝の心（生産者等へ感謝する心）⑤社会性（マナー）⑥食文化（地域の産物、歴史）をキーワードに様々な取組をとおして、食育を推進しています。

これらの体験を生かして、12／8(日)の授業参観の日には、◎１年生は自作おにぎり持参、◎３年生は自作弁当持参を目標に取り組んでいます。また、同日、２年生は町民センターにて洋食マナー教室を行います。

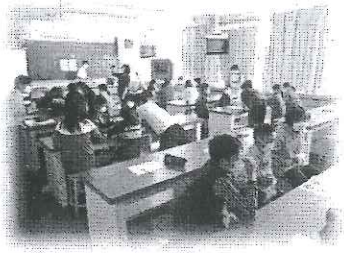
小中連携　『小6一日体験入学』

＜中1とのソーシャルスキルトレーニング＞

＜中２職場体験学習報告会＞

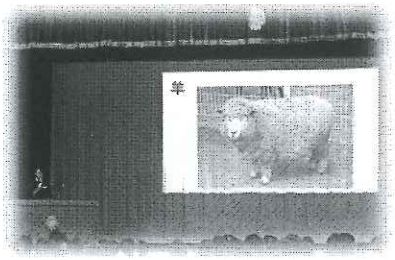
10月31日（木）町内の小学校６年生３９名を学校に招いて、中学校での生活を一日体験してもらいました。最初は緊張していたようですが、徐々に雰囲気にも慣れ、帰る頃には全員笑顔が見られました。数名の感想を紹介します。

○２年生の発表がどうどうとしていて、すごいなと思った。
○人の話を聞く時のしっかりとした態度や、教科の内容を知ることができたので、準備していきたいと思った。
○中学校に入る不安が解消できて、楽しみになった。
○思っていたより中学校の先輩や先生方が優しかった。
○中学校は自分が思っていたのよりはいいところだった。
○中学生はつかれるなぁと思った。



今金町国際交流　NZ報告会

11月15日には本年度のニュージーランド中学生派遣事業の報告会が行われました。今回参加した13名の生徒それぞれが、本事業の趣旨にあるように、派遣を通じ、諸外国の人々とふれあうことにより異なる文化や習慣を体験し、「ふるさと今金」を見つめ直し、広い視野と見識をもつことができたと実感できる素晴らしい報告会でした。



いじめ　撲滅に向けて

本校では、生徒と教師の日常的なコミュニケーションを大切にし、定期的な教育相談と年2回（5月・11月）生徒全員のアンケートを実施し、いじめ撲滅、未然防止に向けて取り組んでおります。

11月に実施したアンケートでは、全校で7名の生徒から相談があり、いずれもその後の聴きとりによって、正確な事実を把握し、1週間以内に解決に至っています。今後も、「絶対にいじめは許されない」という意識の醸成と未然防止に取り組んで参ります。

第2回保護者アンケートを実施します

12／2（月）　配布予定

12／13（金）　提出〆切

お忙しい中ですが、ご協力をお願いいたします

12月（師走）行事予定

2	月	専門委員会
3	火	小中授業交流会
4	水	電気設備点検(14:00～15:00)
5	木	
6	金	3年学力テスト(模試)
7	土	檜山吹奏楽祭
8	日	日曜参観日(4) 1年手作りおにぎりの日 2年マナー教室 3年手づくり弁当の日
9	月	振替休業日
10	火	
11	水	道徳公開研・町教研研究集会
12	木	
13	金	1年　生き方学習カウンセラー講話
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	定例職員会議
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	休業前集会・学年部会・分掌部会
27	金	冬季休業(1/19まで)
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	大晦日